

【2024 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

7	地域連携の実際(1) 地域社会における女性の活躍の事例を通してこれからの地域振興のあり方を講義する。	[堤・坂本] 10月22日	対面授業	講義後出題される小レポートを提出する。講義から、課題を抽出し整理する。	4
8	地域連携の実際(2) 地域社会における家族の変化と地域連携について事例を通して講義する。	[堤・坂本] 10月29日	対面授業	講義後出題される小レポートを提出する。講義から、課題を抽出し整理する。	4
9	地域連携の実際(3) 地域の観光振興と具体的な観光事業のあり方について事例を通して講義する。	[堤・坂本] 11月5日	対面授業	講義後出題される小レポートを提出する。講義から、課題を抽出し整理する。	4
10	地方行政/地域連携に関わる課題の調査・研究発表準備	[坂本] 11月12日	グループワーク	課題の調査	4
11	地方行政/地域連携に関わる課題の調査・研究発表準備	[坂本] 11月19日	グループワーク	課題の調査	4
12	地方行政/地域連携に関わる課題の調査・研究発表準備	[坂本] 11月26日	グループワーク	課題の調査	4
13	地方行政/地域連携に関わる課題の調査・研究発表準備	[坂本] 12月3日	グループワーク	課題の調査	4
14	調査・研究発表会①	[坂本] 12月10日	グループワーク	他のグループ発表の評価	4
15	調査・研究発表会②	[坂本] 12月17日	グループワーク	他のグループ発表の評価	4
試	期末試験は行わない 達成度評価、評価のポイントを参照				

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		48	16	36	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	36	4	6	0	0	46
	思考・推論・創造する力	6	4	6	0	0	16
	協調性・リーダーシップ	0	0	6	0	0	6
	発表・表現伝達する力	0	4	6	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	6	0	0	6
	取組みの姿勢・意欲	0	2	0	0	0	2
	問題を発見・解決する力	6	2	6	0	0	14

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	✓	対面講義時間内に Teams 上で出題する。採点后返却する。講義内(第10回)に講評をおこなう。
	②	✓	
	③	✓	
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①	✓	レポートの添削・評価をして返却する。
	②	✓	
	③	✓	
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①	✓	結果の講評を Teams 上で行う。
	②	✓	
	③	✓	
	④	✓	
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2024 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員	堤 美智、特別講師〔倉澤 芳樹（富士河口湖町政策企画課）、和光 勇介（富士河口湖町健康増進課）、渡邊 勇介（富士河口湖町福祉推進課）、杉本 悠樹（富士河口湖町生涯学習課・学芸員）、植野 景吾（地域おこし協力隊）、中原 崇（元地域おこし協力隊）、堤 マサエ（山梨県立大学名誉教授）、船木 上次（萌木の村株式会社 代表取締役）〕			
教員の実務経験	富士河口湖役場で町の行政を担当する職員や、地域おこしを実践している元役場職員（地域おこし協力隊）、八ヶ岳南麓の活性化に尽力している団体の代表 船木 上次 氏、家族社会学の専門家 堤 マサエ 氏を特別講師として迎える。また専任講師の堤 美智 准教授は、地域経済の振興についての専門家で、国内外の事情に詳しい。			
実践的授業の内容	地域行政や地域連携の実際に関する講義から、グループワークで課題を抽出し、自分たちで調査することで実態の理解を深めたうえで、対応策などを発表する。			
そ の 他	受講者の数により、授業内容「調査・研究発表会」は第 15 回のみとし、第 14 回は「発表準備」に変わる可能性がある。 また、今後の新型コロナウイルス感染症などの状況によってシラバスが変更される可能性がある。			